

川の水質と指標生物

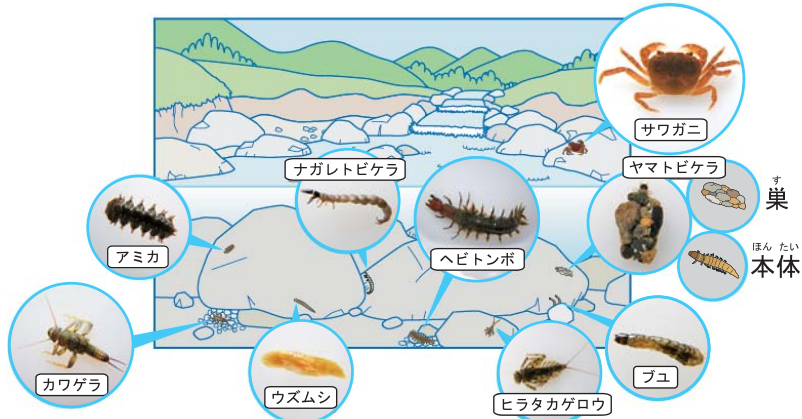
水のきれいさの目安となる生き物のことを「指標生物」といいます。指標生物は「日本全国に広く分布している」、「見つけやすく区別しやすい」、「水のよごれに敏感」などの理由で30種類が指定されています。では、この指標生物はどんな水質の場所で見つかるのでしょうか。水のきれいさの区分(水質階級)別に見てみましょう。

水質階級Ⅰ



きれいな水

水は透明で、川底まで見え、みなさんが川の中に入って遊びたくなるようなところ。川底には石がたくさんあります。また、川岸には植物があり、日陰もあります。



水質階級Ⅱ



少しきたない水

まわりには田んぼがあって、水がややにごっているようなところ。川の中の石を持ち上げるとたくさんの生き物を見ることができます。



水質階級Ⅲ



きたない水

排水路が川につながっていたり、まわりには多くの人家が見られたりするようなところ。川底は泥っぽくなっています。



水質階級Ⅳ



大変きたない水

まわりには工場なども多く、人がたくさんすんでいるようなところ。川の水はにごっていて、ゴミなどがたまりやすくなっています。

